

秋の自然を生かしたおもちゃをつくり、遊び方を工夫することによって、遊びの面白さや

自然の不思議さを実感し、友だちとのかかわりを深める学習

### つくってあそぼう

秋の実をつかって — 1年 —

日時 9月30日(金) 5校時  
 対象 1年 男子18名女子19名計37名  
 指導者 紺野 文子 田口 伸子  
 場所 1学年ホール

#### <本単元のねらい>

##### 関心・意欲・態度

ねらい  
 ・木の実や身近なものなどを使ったおもちゃを工夫してつくろうとする。  
 ・つくったおもちゃで、ともだちといっしょに楽しく遊ぼうとする。

実態  
 ・大部分の子が、身近なものを使って、意欲的に作りたいものを進んで作ることができる。  
 ・まだ、自分が楽しく遊ぶことが中心で、友だちとかかわりながら、一緒に遊ぶというところまで意識がっていない子が多い。

##### 思考・表現

ねらい  
 ・木の実や身近なものなどを生かしておもちゃをつくったり、遊び方を考えて工夫したりする。  
 ・木の実や身近なものなどを生かしておもちゃをつくったことや、遊んだこと、楽しかったことを絵や文章で表現する。

実態  
 ・自分の思いや願いをもって作りたいものや遊びを考えることのできる子が多いが、中には、思いつかずに戸惑ってしまう子も10数名いる。  
 ・気づいたことや感じたことを自分の言葉で話すことはできるが、絵や文章に表すことは困難な子が半数ほどである。

#### <実感をもたせる工夫>

・前単元「秋みつけ」で、集めた木の実や小枝などに十分ふれて形や動きの面白さや不思議さに気づくことによって、おもちゃ作りへの意欲へつなげていくようにする。  
 ・1単位時間の最後に、おもちゃ作りについて活動したことや自分や友だちのよさを言葉で表現して振り返ることによって、気づきを認識できるようにして、価値づけていく。  
 ・同じようなものを作っている他のグループや、違ったおもちゃをつくっているグループと交流する時間を設定し、自分たちの活動と比べてよりよい方法に気づいたり、考えを深めたりしていくことができるようにする。

#### 気づき

ねらい  
 ・木の実などを使って遊んだり、友だちと遊んだりすることの楽しさや、自然の不思議さに気づく。  
 ・おもちゃをつくったり、遊んだりしながら、自分や友だちのよさに気づく。

実態  
 ・身近な自然や、身近にあるものを使って遊ぶことの楽しさはこれまでの体験から殆どの子が気づくことができるが、自然の不思議さに気づくことができる子はまだ多くない。  
 ・活動の中では、まだ自分にしか目がいかず、友達のよさに気づくことのできる子は少ない。

#### <単元の展開> (時間)

7時間

段階	主たる活動	指導の手立て
したしむ (1)	○おもちゃをつくる計画をたてる。	・秋の実の動きの面白さや不思議さについてふり返り、それらの特性を生かしてどんなおもちゃを作ることができるのか考えるようにする。
かかわる (5)	○願いに沿って集めた秋の材料を使って友だちと協力しておもちゃをつくる。(2)	・どの子も意欲的に取り組めるように、作りたいものが同じような子ども同志でグループ編成をする。 ・友だちと力を合わせて活動する中で、作業を手伝ったり、作り方を学んだりさせながら、友だちと活動する楽しさに気づくことができるようにする ・他グループとも交流することによって、自分たちの活動と比べてよりよい方法に気づいたり、考えを深めたりすることができるようにする。
	○つくってみたおもちゃで遊びながら、楽しく遊べるようにルールや遊び方を考える。(1)	
本時3/5	<b>本時のねらい</b> つくったおもちゃで試し遊びをしながらグループで話し合う中で、直すところや工夫するところに気づき、ルールや遊び方を考えたりつくったりすることができる。(思考・表現、気づき)  <課題>おもちゃであそんで、もったのしくあそべるようにかんがえよう。	
	1 試し遊びをして、どんなところを直したらよいかや、遊び方などについて話し合い、おもちゃを改良する。 <ポイント> みんながあそべる たのしくあそべる ・試し遊びをする。 ・どんなところを直したらよいかや、遊び方、ルールなどについて話し合う。 ・おもちゃを改良する。	・おもちゃまつりをするためには、みんながたのしくあそべることが大切であることを教師のモデル提示によって気づくことができるようにする。 ・話し合いの手順を明確に示し、視点に沿った話し合いができるようにする。 ・グループの友だちと一緒に試し遊びをしながら、視点に沿った会話ができるように促し、自分の気づきや思いを友だちに伝えられるように支援する。 ・自分の考えがもてなかったり、活動につまずいたりしている子には、工夫している子の様子に気づくような声かけや、手助けをして、どの子も進んでかかわれるようにする。 ・自分たちで工夫し改良したことや、自分や友だちの頑張りについて発表することによって、満足感と次時への意欲をもてるようにする。
	2 グループ毎に活動の反省を行う。  3 本時を振り返る。	
ひろげる (1)	○おもちゃまつりの準備をする。(1) ○おもちゃまつりで楽しく遊ぶ。(1)	・お客と店員の両方の立場で考えることによって、よりよい方法は何か気づくことができるようにする。 ・楽しさだけでなく、工夫しているところや頑張りを見つけながら遊ぶことができるようにする。
	○活動をふり返り、感じたことを絵や文に表し、交流し合う。	・楽しかったことや頑張ったことを家の人に伝えるという形で書き、活動のふり返りを行うことによって自分や友だちのよさを実感できるようにする。

